

令和5年度 近畿圏広域地方計画協議会幹事会（第1回）

議事要旨

日 時：令和5年5月23日（火）14:00～15:00

会 場：大手前合同庁舎5階 共用会議室2（Web会議併用）

主な意見 今後の関西広域地方計画の作成に向けて

災害時の情報収集についても非常に重要であり、考えていく必要がある

持続可能な観光地域づくりの推進について、有用な資産は多くあるため、観光公害を抑制する施策も必要と考えられる

首都圏の有する諸機能のバックアップを担い得る圏域について、あるべき将来像として、東京一極集中を是正し、国土を双眼的、あるいは複眼的にみた圏域づくりを目指していくということをしっかりと記載すべき

広域交通ネットワークの整備・強化について、関西がアジアを中心としたゲートウェイ、西日本の交流拠点の役割を担うために重要であるため、その方向性を明確に示すべき
地域生活圏に関して、関西は府県を超えた広域行政の実績があること、府県を越えた施策展開などによる効率的な行政サービスを実現できる圏域であることから関西が全国のモデルとなることを掲げ、取り組みの着実な推進に期待したい

人手不足の対応について、生産年齢人口の減少、企業の人材不足が常態化しており、関西経済への影響が懸念されている。これに対応するには高度人材の育成に取り組むとともに、自動化を含めた労働生産性の向上をはじめ、女性やシニアの活用など等圏域全体として対応が重要

持続可能な産業への転換について、近畿圏でも具体的な戦略を示していくべきと考える。国内外から人を呼び込み持続可能な構造転換を図るための新たな産業創出・強化・集積に関する戦略を取り入れるべき

近畿のまちづくりにおいて、より広域的な連携を深めることで、個々のまちづくりに活力を与えると考えられ、特性を踏まえた個々のまちづくりを考えるにあたって広域連携も考えることでより深まると考えられる。

文化や観光の観点から舟運を活かすことは重要と考える。大阪は水の都として網目のように水路があり、観光でも活用できる

水力エネルギーの活用も注目されており、持続可能な発展の観点から重要である

地域公共交通について、ラストワンマイルのモビリティの検討や地域公共交通活性化再生法の改正による取組について考えていくべき

外国人旅行者の受入環境整備として関西 MaaS には力を入れており、DMO とも連携していきたいと考えている

関西広域地方計画については、前向きな計画、元気が出る計画にしていきたい

以上